

かみふらの 議会だより

NOナウW

97.10.25

No 16

『そそぐ真剣な、まなざし』



町内行政調査から
(ホッブ園取付道路災害復旧工事現場)

- 開拓記念館設置条例を可欠 2
- 任期後半スタート ― 各委員会の委員が改選される ― 5
- ラベンダー振興 など5議員が一般質問 6 ～ 10

開拓記念館

冬は閉館し祝日開館を検討

入館料50円などを賛成多数で可決

9月定例会は18日と19日の2日間開催されました。

18日は議会の各委員会の改選と一般質問を行いました。

19日は開拓記念館の設置条例、補正予算と助役・収入役の選任議案などを審議し、全議案を可決しました。



完成間近の開拓記念館

開拓記念館とは

開拓記念館は9月定例会で設置、管理に関する条例が可決され、11月1日から利用になりますが、冬（12月から3月）の間は閉館します。月曜日は休館となります。利用料金は50円で、中学生以下は無料です。

建物は草分防災センターの隣に位置し、泥流災害の復興時の村長、吉田貞次郎宅を模したもので、広さは150坪の平屋建てです。施設には開拓の歴史や噴火とその復興に関する次のものが展示されます。

- ・開拓資料展示 100年の歴史、三重団体の歩み、十勝岳噴火資料
- ・十勝岳噴火展示 大噴火のテレビモニタ
- ・噴火写真、展示パネル
- ・吉田貞次郎資料展示 寄贈資料の展示



9月定例会での審議の様子

出された質疑

□ 入館料

議員

入館料50円を徴収することには合点がいかない。多くの人に見てもらおうのであれば無料とすべきである。

入館者の見込みはどの程度か。

教育長 秩序保持の観点から有料とした。

団体には入館料を免除したい。

□ 休館日

議員

社会教育課長 入館者の見込みは郷土館と同程度を予定している。

休日や冬季開館はどのように考えているのか。

社会教育課長 日曜は開館する。祝日には町外者が多く訪れるので夏に開館を考えている。冬は団体の利用申し出には対応する。



冬期間の開館は？

“原案可決”

開拓記念館の条例は質疑の後に採決が行われ、起立多数で原案を可決しました。

補正予算

財源と使い道

9月定例会で補正予算が審議され、一般会計では1億2,985万円が追加補正され、予算総額は106億2,766万円となり、過去最高の予算総額となりました。

■平成9年度補正予算の状況 (単位:万円)

会計名	補正額	補正後の額
一般	1億2,985	106億2,766
国保	480	10億4,160

・住民情報システム導入	420万円
・防災行政無線購入	1,200万円
・日新佐川地区道路舗装	1,812万円
・ロータリ除雪車購入	2,948万円
・公共土木災害復旧	5,498万円



更新予定のロータリ除雪車

町税・補助金・寄付金 防災無線・ロータリ除雪車



答弁に立つ尾岸町長

町税

町民税	1,880万円
固定資産税	2,170万円

補助

公共土木補助災害	4,520万円
(災害場所) 鎌沢川・江幌完別川・西13線川	
演習場周辺障害防止事業	468万円
(神谷川改修 818万円)	
(山加川改修 660万円)	
(北24号排水路 減額 1,010万円)	

寄付金

26件	1,707万円
-----	---------

こんな質疑が

寄付金の使い道は

議員 開基100年の寄付金は当初より多く残るので、その意志を尊重し、人づくりに使うべきでないか。
町長 議会とも相談し、趣旨に沿うように検討したい。

目的ある基金積立を

議員 公共施設整備基金は特定の目的がないまま積立してあるので、今後、図書館建設など目的をもった基金とすべきでないか。
総務課長 図書館は、建設する年が明らかになったときに基金を設立したい。

ロータリ除雪車の更新

議員 現在のロータリ除雪車は、まだ十分に使えるのではないか。
建設課長 現在の機械は14年が経過し、維持費がかかるので下取りとする。

精神障害者住宅の補助

議員 精神障害者住宅への補助の内容は。
町民課長 運営費相当分と住宅改修費の一部を補助する。来年度は道からの補助対象となる予定である。

行政改革懇話会の予算

議員 懇話会委員15人の予算内訳は。
総務課長 12回の開催を予定し、計45万円を予定している。

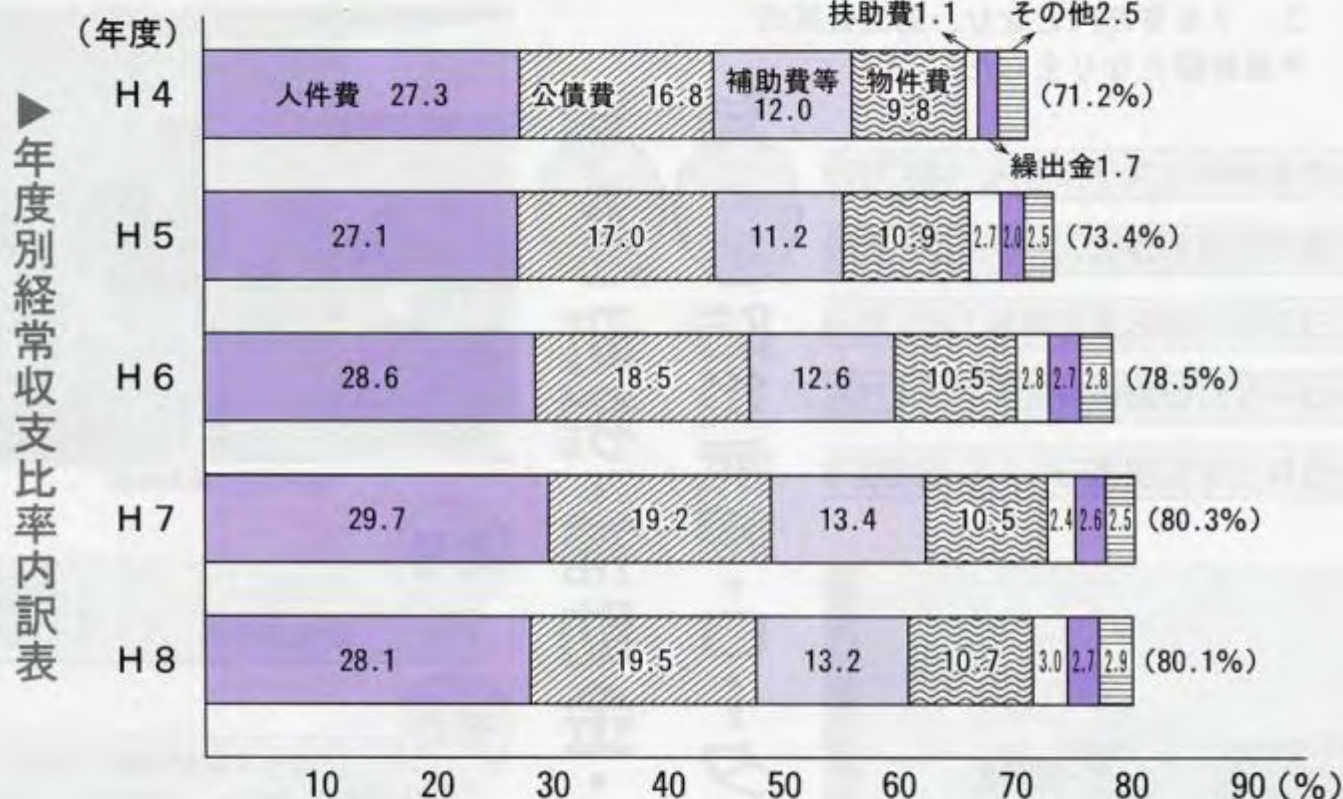


□ 町財政 その3

これまで2回のシリーズで町の財政を取り上げました。今回は最後として、経常経費の中身を分析しました。

健全財政のためにも増え続けている町債に歯止めが必要です。

町の経常経費をさぐる



用語解説

経常経費 毎年度継続して経常的に支出される経費をいい、各家庭に置き換えると家賃、食費、光熱水費、ローンなどです。

人件費 職員給与・議員、非常勤職員報酬・法廷福利費等

公債費 借入金の償還費

補助費等 各種団体等に対する補助金等

物件費 委託料・旅費・消耗品等

扶助費 社会保障制度の一環として身体障害者等に支給される経費

繰出金 特別会計への経費負担等

増えつつける町債

上のグラフは本町の最近5カ年の決算における経常収支比率の内訳を示したものです。

内訳を見てみると平成4年度を基準として平成8年度と比較すると人件費、物件費については、ほぼ横ばいですが、公債費については道路整備等事業実施による借入金が増えたため2.5%、また、扶助費は福祉施策の充実を図ったことや高齢者人口が増えたことより1.9%、補助費等については町立病院等各種団体への補助金が増えたことにより1.2%、繰出金は下水道会計や国保会計への繰出金の増により1.0%それぞれ増え、全体では5年間で8.9%の増となっています。

したがって、これらの要因により固定的経費が増え、年々余剰財源が少なくなってきました。

また、本町と人口規模が類似している市町村の全国平均で平成7年度において比較してみると、類似市町村が経常収支比率76%に対して、本町は80.3%となっており、3.7%本町が高くなっています。この要因を見てみると公債費が類似市町村と比べて2.7%より高くなっているためです。

任期後半スタートする

～各委員会の委員が改選される～

各議員は任期4年で2年ごとに所属する委員会が変わります。

委員会改選は議員の選挙によって本会議で決定されました。

改選された委員会は3常任委員会（総務・教育民生・産業建設委員会）と議会運営委員会の4委員会で、構成委員は下に掲げました。

産業建設

委員長 松田勝利
副委員長 米沢 義英
委員 小野 三郎
// 佐藤 政幸
// 小野 忠
// 久保田英市
// 笹木 光広

(所管する課) 農政課・耕地課
商工観光課・建設課
都市計画課・
農業委員会

総務

委員長 吉岡光明
副委員長 仲島 康行
委員 徳島 稔
// 松井喜代治
// 吉武 敏彦
// 西村 昭教
// 平田 善臣(議長)

(所管する課)
総務課・企画課
税務課・会計課



委員長 徳島 稔
副委員長 久保田英市
委員 吉岡 光明
// 松田 勝利
// 青柳 輝義
// 中川 一男

(審議事項)
・議会の運営に関すること
・議会の規則、条例に関する
こと
・議長の諮問に関するこ

議会運営

委員長 青柳輝義
副委員長 清水 茂雄
委員 海江田博信
// 中川 一男
// 石川 洋次
// 梨澤 節三

(所管する課) 町民課・保健課
水道課・町立病院
特別養護老人ホーム
教育委員会

教育民生



▲真のラベンダーの町へ！



梨澤議員

Q、町一杯にラベンダーを！

A、関係機関に働きかける。

ラベンダーの再認識を

問 町一杯にラベンダーを植えて真のラベンダーの町としてはいかが伺いたい。

町長 ラベンダーについては観光資源として現在約20ヘクタールが植栽されている。今後はさらに町興しの一つとして国道、道々敷地等にラベンダーを植栽していただくよう関係機関に対し積極的に働きかけていきたい。また町内会、商店街などが行うラベンダーの植栽についても可能な範囲で支援していくよう努めてまいりたい。

日の出公園駐車場管理について

問 日の出公園町営駐車場はラベンダー祭りの2日間を除き規制を撤廃してはいかが伺いたい。

町長 日の出公園駐車場はラベンダーシーズンに過去に規制をしないで利用したところ大混乱を招いたこともある。現在は車両渋滞を緩和するためラベンダーの

開花期約一ヶ月間を利用制限しており、観光協会が運営する有料駐車場との関係で観光客の不評を招いている。昨年からラベンダー祭りの二日間を観光協会の駐車場を無料にしている。

日の出公園駐車場問題は今後とも解決に向けて努力したい。

再質問 私は観光協会の駐車場の話はしていない。町民のための町民の駐車場を町民の手に返しなさいといっているのがいかか。

町長 日の出公園駐車場への観光バスの入り込みは把握していないが、町の観光拠点としての関係上、ラベンダー観光の期間、町民の皆さんに不便を掛けているところですが、今後もしばらくの間町民の皆様のご理解を賜りたい。

非行防止の措置を

問 駅前駐輪場に非行予防のため監視カメラ、スピーカーを設置してはいかがか。

町長 駅前駐輪場について

は夜間の照明、監視窓、バイクの侵入防止、ゴミ箱の設置等の配慮をしている。質問の件については監視備品、場所、人等の問題があるので当面利用状況を把握した中で対策をたてたい。



日の出公園トイレ

保育所の入所準備は

問 男女共同参画社会の基礎となる新年度の幼児預かり対策はできているか。

町長 本年度は17名の入所希望者を受入れできない状況であり、現在13名待機となっている。町としては、対象者全員を入所させたい。

トイレの使用期間を表示せよ

問 公園内のキャンプ場、

トイレ等の使用期(時)間また必要な標識等を表示してはいかがか。

町長 駐車場、管理棟のトイレは午前8時30分から午後9時まで使用可能、キャンプ場と展望台のトイレは使用制限なし、冬期間はキャンプ場、展望台、駐車場は閉鎖、管理棟はスキーの関係もあり、午前8時30分から午後9時まで使用可能です。今後は各トイレ等に使用期(時)間を明示したいと考える。

再質問 管理棟入口に身障者トイレの表示を、またラベンダー祭り期間についても必要な規制はやめてはいかかとお伺いする。

町長 身障者のトイレの表示等、早急に対応したい。公園内の規制については、観光シーズンいろいろな面で、お祭り二日間の対応をさせていただいており公園使用の範囲の中で最低限の規制はある程度やむを得ないと考えます。

▲第一回行政改革懇話会から



小野忠議員

Q、団体補助金の見直しを！

A、行政改革の中で検討する。

問 団体運営費の補助金を検討をしたか

各種の団体に対して補助金を支出していることが本町の公益的増進に寄与しているか否か個々の団体について検討されて予算を計上したか。

町長 補助金は予算査定段階でその必要性を十分検討して、各種団体の設置目的が公共的な活動を営むことと住民の福祉向上に寄与するなどのことで公益上必要があるとの判断のもとに、その公共的な活動の度合いと財政等を総合的に判断して定額または定率で補助金額を決定し予算議決をいただき、それぞれ交付している。

再質問 町が助成補助している団体の中には、現在ほとんど活動しておらず、町補助金だけで運営している団体もある。前々町長時代からの継続をそのまま黙認し、引き続き補助金を支出している団体も少なくない

のではないかと推察するが、今後補助金を総見直しする意志はないか伺いたい。

町長 補助金は予算査定段階でその必要性を十分検討して現在取り組んでいる。

また町政全般にわたる行政改革の中で、補助金などの整理合理化を位置付け内部組織である行革部会において具体的な内容把握と既成補助金についても、客観的な評価のできるシステムの構築やスクラップアンドビルド方式（注1）、サンセット方式（注2）の導入などの検討を進めている。

今後は、設置予定である行政改革懇話会（注3）の中で改革課題について討議を重ね住民の理解と協力を得たいと考えている。

町情報公開条例の制定を問 町長は先の町長選挙公約で町政の主人公は町民である行政の推進を実現するとアピールしていますが町民は行政の内容をよく知り、よく理解する必要があるが、

情報公開条例の制定について町長はどのように考えておられるか。

町長 情報公開条例制定については、近年は社会構造が大きく変革する中で町政の簡素効率化を実現するための行政改革を推進することとは、町政に対し一層の住民参加の充実を図るとともに、行政の透明性の向上を図ることが重要であり、その実現のため情報公開制度は必要であると認識している。

再質問 情報公開制度についてはプライバシーの保護などで公開できないものがあることは理解できるが、制定の時期についておおよそいつまでに制定しようと考えているか伺いたい。

町長 情報公開条例制定についてはいろいろな課題があり、一つ一つ課題を精査しながら行政改革の中でこの問題を位置付けし、早急に対応し行政改革部会の中で検討させ、行政改革推進

計画を何とか年度内に策定してご報告申し上げたい。

用語解説

（注1）スクラップアンドビルド方式とは

組織の膨張を防ぐため、課レベルにおける組織単位数を増やさないことを基本前提とし、新設の場合にはそれに相当する既存施設を廃止しなければならない。

（注2）サンセット方式とは 行政機関の設置や事業費の計上について終期を設定する方法であり、終期が到来すると新たな措置が講じられない限り、その事業は自動的に廃止される。

（注3）行政改革懇話会とは 社会情勢等の変化に対応した簡素にして効率的な町政を目指し、直接町民の意見を活かした行政改革を進めるために設置した。委員については、町民より募集等により15名の方に委嘱した。



◀集中豪雨の影響で水に濁りが



仲島議員

Q、江花地区の飲料水を確保せよ！

A、来年度、調査を実施する。

融雪機の設置補助をせよ

問 融雪機設置補助について前回質問したところ各団体または町内会単位での補助で検討したいとの答弁でしたが、本町においても高齢化が非常に進んでいるが、町長としてもお年寄りに優しい町づくりをしたいという考えを持っているので個人設置に対しての補助について考えを伺いたい。

町長 雪との生活が半年も強いられる本町において、冬期間における生活道路や安全で快適な交通の確保はきわめて重要な課題と認識している。

今後において国、道の責任分野における要望に合わせて、町においても除排雪対策を前向きに推進していく。

きめ細かな除排雪を行うためには地域住民の積極的な参加を得ながら、行政と住民が一体となった体制をつくっていくことが必要であると思っている。

このために個人で融雪機を設置する場合の助成についても引き続き前向きに検討していく。

設置の場所、排水、需要要件、個人または共同にするかなどの助成の条件、機種の設定と安全性、補助または融資といった助成方法などの課題がありますのでこれらの問題を早急に検討し、具体策をまとめて実施に移すよう努力する。

再質問 もうまもなく雪が降ってくる状況なので、来年度からやりますという返事をいただきたい。

町長 いろいろな検討を加え整理しなければならぬ課題があるが、早急に対応したいと思っているが、今年度、町内の設備希望者の意向調査を行い、財政又は時期的な問題もあるが、効果と補助等の条件整備のために一部試行的に今年度中に実施するよう前向きに取り組む。



個人に対する融雪機の補助は

江花地区に飲料水供給施設を整備せよ

問 江花地区において、8月の集中豪雨の影響で飲料水が濁り、飲料水対策として供給施設の早急な設置が必要だと思いが考えを伺いたい。

町長 現在江花地区の飲料水については地域において地下水及び湧水を利用して

いるが、最近の山林原野の開発及び畑地帯の基盤整備と自然環境の変化により、降雨時には水質が汚濁し、また地下水、湧水も量的に減少傾向にある。

安全でおいしい水の安定的供給を図る必要があることから、水資源調査を平成10年度予算で検討したいと思うのでご理解願いたい。

▲かみふらの岳登山会から



清水議員

Q、青少年の健全育成対策は！

A、家庭教育の充実を図る。

少子化対策、青少年、幼児の健全育成対策は

問 前回、町長は国や道及び他市町村の動向を把握しながら対応策を検討と答えられたが、この問題はそんな手ぬるいことをいつてるような状況でないと考えて、行政として早急に対策を樹立すべきでないか所信を具体的に伺いたい。

町長 町としても、国や道、他市町村の動向を把握しながら環境づくりに重点をおいて力を注いでいきたい。

青少年、幼児の健全育成については、近年の少子化、核家族化の進行に伴い、家庭教育に対する親の自覚不足、過保護、過干渉や放任などから家庭教育力の低下が指摘されており、親がその責任を十分に発揮することを望みたい。

行政の役割は学習機会の提供などの条件整備を通じて、家庭教育の充実を支援していくことが大事であると考えており、家庭教育

の充実、保護者の教育力の充実に目指してまいりたい。

再質問 私は議会に参加して以来、一貫して町行政の中に専門部署を設けて検討していただきたいと質問しておりますが、前理事者も現町長も答えは変わりなく、進展性がない。

町長 前任者も私も同じ回答だという話だが、それだけこの問題は難しい課題が横たわっており、短期的に解決できるものでなく、永い期間の中で対応していかなければならない課題がたくさんあるということで、ご理解を賜りたい。

再々質問 町長は非常に永い期間を要する課題であると答えられたが、それだからこそすぐに取りかかる必要があり、それには専門部署を設けて対応すべきと考えますが、その点もう一度伺いたい。

町長 教育委員会が所管で対応しているのが各組織との連携を密にしながらす

めている。より一層青少年の健全育成に尽くしてまいりたい。

農業対策について

問 町の基幹産業である農業を取り巻く環境は特に今年は厳しく、行政としてこの入れが必要と考えるが。

町長 本町の基幹産業である農業振興策としては、第3次農業振興計画の諸施策を関係機関の協力をもとに展開し、21世紀農業の基盤造りのための体質の強い農業経営を目指している。

また後継者不足に対応するための農地流動化対策、担い手確保の環境づくり、新規就農、新卒Uターン者に対する支援対策等、農業の振興を図っているところですので、ご理解を賜りたい。

商工業の活性化対策は

問 当町の商工業は大型店の進出、その他の要因により、経営者は苦境にたっており、行政のこの入れが必要であると考えているがどうか。

町長 街路事業の取り入れ、販売の独自性や専門性など、今後の方向をさぐる若手後継者等の体験研修事業や魅力ある商店街活動推進、継続事業として実施されている諸事業に支援を行っており、当面行政支援ができる課題について、今後商工会などと協議を進めてまいりたいと思いますのでご理解賜りたい。

再質問 農業対策と商工業の活性化対策について、もっと実のある答弁をいただきたい。即効薬として対応策はないのか。

町長 基幹産業の農業、商工業の振興につきましては重要な課題の一つとして、それぞれ押さえている。先程、所管委員会からこの問題について報告をいただいたところである。

十二分に精査し、やるべきことにつきまして対処していくよう努めたいと思っておりますのでご理解いただきたい。

乳幼児の健康診断から



米沢議員

Q、腎臓透析患者に交通費の補助をせよ！

A、十分、研究する。

情報の公開制度を

問 情報公開は住民による行政監視、参加の充実から制度が必要でないか。

町長 住民による行政参加が求められており住民自らの意志を行政に反映させたり、行政の運営などを監視するためには、行政が保有する情報開示は大変重要と認識している。

再質問 情報公開については開示の方向で検討しているのと受けてみてよいか。

町長 行政改革部会で検討させており、議員皆様方に審議賜り、情報公開条例の時期についても提示できるよう努力したい。

腎臓透析患者の交通費の補助をせよ

問 腎臓透析患者の方が町外へタクシーを利用して通院した場合、高額な交通費がかかっており負担軽減のため補助をしてはどうか。

町長 大きな負担を強いられていることは十分認識しているが、交通費助成につ

いては、他の障害者に及ぼす影響、財政面を考えながら十分研究してみたい。

再質問 他に及ぼす影響というのなら、等しく補助の改善をすべきでないか。

町長 腎臓透析というだけでなく他の障害者、難病患者等々の部門も十分に研究したい。

乳幼児の医療費無料化を

問 乳幼児の医療費無料化については検討する課題と答弁していたが、検討されたのか。

町長 検討していたが、現在の財政状況では厳しい状況にあり、乳幼児の健康管理と栄養指導などに力を入れたい。

再質問 子育て支援を願うお母さん方の要求に応えるのが町長の責務と思うが、熱意が感じられない。

町長 乳幼児の医療費補助というだけでなく、全面的な子育て環境の中で配慮したい。

酪農ヘルパー利用組合への助成額の増額をせよ

問 酪農ヘルパーを1人雇用するのに約4百数十万円の費用がかかり、酪農家の負担も大変であり、補助額の見直しを行ってはどうか。

町長 平成8年から35万円の助成をしており今後の助成については2、3年の推移を見定めて対応したい。

再質問 2、3年後を待たずに早急に検討すべきでは。

町長 酪農ヘルパー利用組合の方から申し出があれば調整させていただきたいと考える。



牛の世話をする酪農ヘルパー

図書司書の配置をせよ

問 公民館、学校図書室は子どもたちが自ら良書に親しみ、調査研究する大切な場所であるため図書司書を配置することは、蔵書の整理と充実が図られ、その役割は重要と考えるがどうか。

教育長 図書業務が複雑多岐になっている状況からしても職員育成を図りたい。

再質問 学校図書には、司書教諭を置くことになっているが、司書教諭の資格を有する教員も少なく、ほとんどの学校に司書教諭が配置されていないのが現状である。

しかしながら、児童生徒の人間形成や情操を養ううえで重要な役割を担っており、道教育委員会にも司書教諭配置等について要望していきたい。

再質問 図書司書の配置年度はいつか。

教育長 今後の予算編成等に合わせ町長の方にも要請してまいりたい。

顔

私の抱負
青柳輝義議員は、元消防長で若い頃から大雪山連峰を縦走するなど大の山好きです。現在は教育民生常任委員長、議会運営委員として、持ち前の行動力により活躍しています。

高齢化社会を迎えて、年をとってからも安心して余生を送れる社会の確保が必要となってきます。経済状況により、福祉政策が変化しないよう努力したいです。

米沢義英議員は、昭和58年に30才の若さで初当選して以来、現在4期目で産業建設常任委員副委員長として活躍中です。

私の抱負

町の中で医療費のことが心配で病院に行くのを控えていたけれど、我慢も限界で病院にいつてきたというお年寄りにあいました。この現実にしつかりと耳を傾けなければならないと思う日々です。

□青柳輝義議員



あおやぎ・てるよし
昭和5年8月28日生まれ
当町、本町3丁目に夫人と居住。現在2期目

充実した日々を

登山・ゴルフ

趣味

スキー

日々是好日

右銘
座の

初心忘れるべからず

声なき声を大切に



よねざわ・よしひで
昭和28年1月25日生まれ
当町、泉町1丁目で夫人長男の3人で居住。現在4期目

□米沢義英議員

Family

家族から

消防時代から忙しい人で、留守にすることが多く、家のためにはあまり頼りにならない人です。自分も老人の域に入ったことを頭に入れて、健康に気を付けて働いてほしいと念じています。



青柳栄子夫人

たくさんの方とお話をさせていたでく中で、「今、町民は何を望み、何を必要としているのか。」を教えられ14年が過ぎました。「対話」は議員活動の原点だと思います。お話を聞かせてもらえることを本当にうれしく思います。



米沢礼子夫人

この企画は毎号2人の議員を紹介します。

議会の窓

大詰め議員定数

議員定数特別委員会

議会では議員の定数を、特別委員会を設置し審議しています。これまで7回の

審議をするとともに他町の視察や住民アンケートの実施、住民との懇談会を開催しました。

これまでの審議では、住民の接点や行政改革による経費の削減、地方分権による事務の増大などの意見が出されています。結論は年内を予定しています。

現在の議員は20人ですが、昭和42年の選挙から、それまでの26人から20人へと6人が減少されています。



議員定数に関する住民懇談会

雨により災害が発生 被害調査を実施

さる、8月上旬からの長雨と8月10日の大雨によって、道路の路肩や法面が崩れたりする災害が発生しました。

議会では8月19日にその状況を調査し、臨時町議会において災害復旧に必要な補正予算を可決しました。



災害状況を調査する議員

議会の動き

〔9月〕

3日 教育民生常任委員会

8日 教育民生常任委員会

9日 産業建設常任委員会

10日 総務常任委員会

11日 議員協議会

12日 議会運営委員会

18日 第3回定例町議会（1日目）

19日 第3回定例町議会（2日目）

26日 議会広報委員会

〔10月〕

6日 議会運営委員会

7日 教育民生常任委員会

8日 総務常任委員会

9日 議会広報委員会

13日 第6回臨時町議会

町内行政調査

16日 議会広報委員会

20日 産業建設常任委員会

10月1日の人事異動により議会事務局職員に異動がありました。

▽庶務係長 北川 徳幸

（前）町耕地課耕地計画係

▽前 庶務係長 野崎 孝信

（町企画課企画係長へ）



北川庶務係長

編集後記

「議会だより」も創刊より、四年を経過して紙面も分かりやすく親しまれる内容にと工夫してきましたが、いかがでしょうか。広報委員会も新しいメンバーとなって全員はりきっています。

9月には行政改革を大胆に取り組もうとした矢先、橋本内閣が組閣でつまづき、国民の感覚と永田町の常識に大きな較差を感じたものです。本町においても、行政改革に取り組んでいます。九月定例会には町長の諮問機関として、民間人の意見を聞く場が設けられました。単純なリストラ、合理化だけの考でなく、行政のあるべき姿を求めている行政改革であってほしいものです。今年には開基百年の年です。夢元年、残り3ヶ月、今一度故郷を振り返りあたりをよく見回してみませんか。来年は二百年に向かってスタートの年「いざはばたかん！」（西村 記）



委員長 西村昭教
副委員長 石川洋次
委員 佐藤政幸
委員 吉武敏彦
委員 小野 忠
委員 梨澤節三

議会の傍聴は自由です！

当日、受付で名前などを書くだけです。



この広報紙は再生紙を利用しています。